



特別号

第九回

まつりどうじ

「祭童子あつまれ」

らくぶん

楽文コンテスト

各賞受賞作品発表!!

君のお祭りの楽しさを教えてほしい。

詩・作文・歌、君にあった方法でかまわない。

一行でも、読字・脱字、せんぷひらが

ごめいごめいかなんていい。

さう、「楽文」でいいんです。

お祭りは、みんなを楽しくする。

もっと、もっと楽しくなるために

君の大好きなお祭りのことを教えてほしい。

主催: **博四四風**

協賛: (株)九電工、西部ガス(株)、西日本鉄道(株)

特別協賛: **docomo**
日本アイ・ビー・エム株式会社

後援: 福岡市、福岡市教育委員会、福岡商工会議所、
(社)九州経済連合会、(株)岩田屋、九州電力(株)、
九州旅客鉄道(株)、コカ・コーラウエスト(株)、
(株)西日本シティ銀行、西日本電信電話(株)、
(株)福岡銀行

協力: 博多祇園山笠振興会、(株)毎日新聞社、
RKB毎日放送(株)、九州朝日放送(株)

選考委員: 瀧田喜代三氏(博多祇園山笠振興会 会長)
伊藤元信氏(毎日新聞社 西部本社 編集局長)
永守良孝氏(RKB毎日放送 代表取締役社長)
沢田幸二氏(KBC九州朝日放送 パーソナリティ)
大庭宗一(NPO博多の風 理事長)

第23号

平成21年11月発行

第9回

祭り童子あつまれ 楽文コンテスト 各賞受賞作品発表!!

博多祇園山笠振興会賞

- | | | |
|-------------|------------|-------|
| ■「私の大好きな山笠」 | 博多小学校 4年 | 吉積きらり |
| ■「山笠」 | 博多小学校 6年 | 山崎 侑香 |
| ■「校区夏祭り」 | 小田部小学校 6年 | 京免 晴菜 |
| ■「地域のお祭り」 | 香椎第三中学校 3年 | 長澤あずみ |
| ■「祭りとは」 | 長尾中学校 3年 | 谷口 桃子 |

毎日新聞社賞

- | | | |
|--------------|------------|-------|
| ■「夏祭り」 | 博多小学校 3年 | 福島 由樹 |
| ■「未来へ残せ!夏祭り」 | 舞鶴中学校 1年 | 堀 聖太 |
| ■「祭りの魔法」 | 舞鶴中学校 1年 | 江崎友里絵 |
| ■「地域のお祭り」 | 香椎第三中学校 3年 | 藤野 愛海 |
| ■「年一番の行事」 | 舞鶴中学校 3年 | 菊川 敦之 |

NTTドコモ賞

- | | | |
|---------------------|------------|-------|
| ■「一番山かさ」 | 博多小学校 2年 | 白水知之介 |
| ■「夏祭りのうら方さん」 | 堅粕小学校 5年 | 首藤 大知 |
| ■「香椎宮奉納獅子楽を通じて学んだ事」 | 香椎第三中学校 1年 | 本郷 匠 |
| ■「全ては、ここから始まった」 | 博多中学校 2年 | 入江 菜子 |
| ■「ちゃんぽん」 | 箱崎中学校 3年 | 武石 栞 |

日本アイ・ビー・エム賞

- | | | |
|---------------|-----------|-------|
| ■「楽しい山笠」 | 博多小学校 3年 | 津村日出夫 |
| ■「去年の経験から得た事」 | 博多小学校 6年 | 喜納 暦 |
| ■「僕達のお祭り」 | 千代中学校 1年 | 池上 優貴 |
| ■「博多の祭り」 | 箱崎中学校 3年 | 武藤可奈子 |
| ■「お祭りの謎」 | 多々良中学校 3年 | 山内 香奈 |

NPO博多の風賞

- | | | |
|---------------|------------|-------|
| ■「博多のごりよんさん」 | 博多小学校 3年 | 平井 優花 |
| ■「宇田川原豊年ししまい」 | 周船寺小学校 5年 | 井手 佑香 |
| ■「博多のお祭り」 | 博多小学校 6年 | 近藤茉莉奈 |
| ■「支えるもの」 | 原北中学校 1年 | 波左間翔太 |
| ■「私と祭り」 | 香椎第三中学校 2年 | 近藤 瞳美 |

博多祇園山笠振興会賞

私の大好きな山笠

●博多小学校 4年

ヨシツミ
吉積きらり

「おいさっ!おいさっ!」
「バシヤバシヤ」(清い水の音)

私は博多のお祭りの中で山笠が一番大好きです。なぜかというと、ふだんの父は家でごろごろしているけど山笠の季節になるとかみをバツサリ切り男らしくなるからです。

本当は、私も一緒に山笠に出たいけど、女の子だから出られないのがくやしいです。でもごりよんさんは、炊き出しのじゅんびや、洗たくとい

そがしくなりませす。私も母と一緒に炊き出しのじゅんびやしめこみを、たんだりして手伝います。お皿に料理を盛りつけたりしたり、おにぎりをにぎったりする事がとっても楽しいです。

博多小学校の子ども山笠も、五年生や、六年生の女の子達がごりよんさんとして、ぶた汁を作ったりしています。私は、まだ四年生なのでごりよんさんには入れないけど、友

達と一緒にバケツを持って清い水をいっぱいかけました。来年は私も子ども山笠のお手伝いをするのが楽しみです。

7月9日のお汐井とりは毎年筒さき宮まで見に行っていたけど、今年は、学校の目ぶクラブで、くし田神社のうぶたいでおどったので筒さき宮には見に行けなかったけど、くし田神社で見ることができたのでよかったです。7月11日の朝山も、友達のお母さんと見に行く約束をしていたので母に朝起こしてもらって見に行きました。まだ外は暗くてなんだかワクワクしてきました。

いよいよ7月15日の追い山笠がやってきました。テレビで土居流がくし田入りをしてから、おばあちゃんの前まで行って清い水を、いきおいよくかけました。これで山笠が終わるのかと思うとさびしい気持ちになりました。

山笠

●博多小学校 6年

ヤマサキ
山崎 侑香

私は、山笠について書こうと思ったのは、博多の人々の大好きな祭だと思ったからです。

「追い山は少しがいま一日などは七りますが、十西流、東流、中洲流、東流、恵比通りの八つで云を競います。東流、恵比中洲流、千代は、ふつうのすが、上川端の昇き山では川端通りは、川端商店街のるかざり山とています。かうの昇き山よてもきれいで、く写真を撮つふつうの昇八人位の人がか、かざり山かつぐそうでを聞いた時、そんなに重なり回ったりし痛くなったり」と思いま

朝早くから御田入りをし走り、各流の昇す。各流の昇区域にもどつ山はくずされ私が思ったのに沢山の人こい祭なんだ

「な。」と思いましたが。この後七時には、いつもの博多の町にもどります。

これからも、沢山の地域の人に山笠のよさが伝わったらしいです。今年の山笠は楽しかったです。来年も楽しみます。

校区夏祭り

●小田部小学校6年

キウマン
晴菜

私の校区では、毎年、夏祭りがあります。私は、今年も友達といっしょに行きました。

お祭りには、たくさんのお店が出ていました。どの店もおいしそうなのを売っていて、全部買いたいくらいでした。とちゅうからは、ゆかたを着て楽しみました。

最後は、ほんおどりでした。夏祭りは終わりましたが、でも、本当の終わりはまだでした。

次の日の朝早く、夏祭りでお店を出していたお母さんについて行って、昨日の夏祭りの会場に行きました。昨日、店を出していた人達で、会場の片付けをするためです。会場のごみ拾いをする事になった私達は、会場に落ちているいろいろなものを拾い

ました。特に多かったのは、意外にも食べ物でした。ガムみたいなものや、ポップコーン。もつたいないと思いがながら拾いました。

その後、夏祭りです使った道具を公民館で整理して、ようやく夏祭りの片付けは終わりました。

これで、夏祭りも本当に終わったのです。

お祭りは楽しいですが、大規模ですごいお祭りほど、大変な片付けがあります。その事も考えて、食べ物落とししたり、ゴミをポイ捨てしたりしないようにしてほしいです。

地域のお祭り

●香椎第三中学校3年

ナガワ
長澤あずみ

わたしの住んでいる地域では、近所の神社で年に何度かお祭りがあります。その中でも大きなお祭りは、六月に行われる「しょうぶ祭り」と八月に行われる「夏祭り」です。しょうぶ祭りは、六月の神社の菖蒲がきれいに咲くころに行われています。

わたしは吹奏楽部に所属していたので、どちらのお祭りでもステージで演奏をしました。お年寄りの方から小さい子供たちまで笑顔で聞いてく

れているのを見ると、とてもうれしかったです。また次のステージはもっと楽しんでもらえるようにと、お面を作ったり、座ったりなどの演出も加えて、耳だけじゃなく、目でも楽しんでもらえるようにみんな考えて、作ったり練習したりしました。三年生としての最後のステージも夏祭りでした。わたしはいつも本番の前に顧問の先生がおっしゃっていた

「聞いている人を楽しませるには、まず自分が楽しんで演奏すること」

を思い出しながら演奏しました。アンコールもいただき最高のステージになりました。終わった後、友だちのお母さんとおばあちゃんから、「楽しかったよ。ありがとう。」と、声をかけていただいて、

今まで吹奏楽をしてきてよかったと思ひ、今まで自分が吹奏楽を続けてこれたのは、地域の方々が応援して下さいからこそだと実感することができました。

また、お祭りではそれ以外にも、屋台で食べ物を買ったときなどに知らない人でも、自然と、

「ありがとうございます」などと言葉を交わす機会が増え、地域の人の交流が深まると思っています。

よ か物て千し楽る う祭祖な色

●尾
中学校
3年

てしらにしし極 いくお商券会

●博多
小学校
3年

貞祭り

毎日新聞社賞

祭りの魔法

地域のお祭り

惟第三中学校3年

フジノ マナミ
藤野 愛海

の地域、オークタウンで毎年町内会を中心に地域みんなが夏祭りを作りあげています。そして今年もそ期がやってきました。

「行ってきまーす。」と妹の私には小学四年生の妹が子供会に入っています。云に入っている子は夏祭り・ソーラン節を踊るので、ための練習に行つたです。にも子供会では、盆踊り・みこし・屋台の店番と、さんのお仕事があります。小学生で、つい最近入学された子もいるのに、地域祭りを成功するために頑張っているみんなの姿は、まさにながら立派なもので、また、子供会の役員のは、屋台で売るものを作ったり、子供たちの指導をり、陰で子供達をしっかりとサポートしてくれていま

「行ってきまーす。」と今度の声。私の母は盆踊りのを任されています。盆踊り練習はオークタウンの住日由に参加できるようにして、もちろん子供会供達も一緒に練習して曲をかけて一通り踊り、

みんなが踊っていないところを丁寧にやり直します。そして、夏祭り当日にやぐらを囲んで練習のように踊るのです。夏祭りのために一生懸命練習をしている姿を見て、楽しみにしていく気持ちがあつて、伝わってききました。

「行ってきまーす。」今度は父の声。私の父は毎年、会場づくりと焼き鳥の下焼きをしています。地域の方々と協力して、机・椅子を並べて、テントをはるのです。夏祭りのためにボランティアで、汗水流して力仕事をする地域のお父さん方から、夏祭りにこめる熱い思いが感じられました。そのほかにも夏祭り実行委員の方は、夏祭りの企画から運営と、最初から最後までフル活動です。そんなにたくさん気持ちを入れて頑張るからこそ、とても大きな達成感が得られるのだと思います。

地域みんなが夏祭りのために頑張る場面はそれぞれ違つけれど、「夏祭りを成功させたい。」「祭りを存分に楽しみたい。」「祭りを思い出に残る素晴らしいものになりたい。」という熱い思いは一緒だと思えます。こうやって地域の万々が協力するからこそ、毎年夏祭りは成功するのだと思います。このオークタウンならではの地域の「絆」を大切にしていきたいです。そして、

この夏祭りを機に、もつと仲のよい地域になればいいなと思います。また来年の夏祭りを楽しみにしています。

年一番の行事

●舞鶴中学校3年

キタガワ アツシ
菊川 敦之

一年で一番好きな行事は？
「運動会、学芸会、・・・」
なんて答えるだろう、でもそれは昔の話だ。

ゴールデンウィークに行われる博多の大きな祭りの一つ博多どんたく港祭り、毎年日本全国、世界からも多くの人がこの祭りを見るために福岡に訪れる。この時季は、福岡がどんたく一色に染められ、あちらこちらでどんたくの定番曲、どんたくばやしが流れる。それをきいた福岡の人達は、どんたくが来る、と胸をワクワクさせるのだ。

このどんたくには、どんたく隊の名の元でだれでも参加できるという魅力がある。ここ何年では、外国人のどんたく隊があつたり、ドイツニールランドからミッキーがきたことだつてある。だれもが人々に感動を与えることができるのだ。毎年、何百ものどんたく隊がエントリーされる。実は私もどんたく隊として、

小学生の時から参加している。私の所属しているどんたく隊は、伝統があり、踊り（ダンスではない）唄、太鼓、三味線と昔からかわらないスタイルを貫いている。練習は、どんたくの一週間前から行われる。そこでは、一年ぶりに学校とは違った懐かしい仲間達と会う。社会人、大学生、ちびっ子、年齢層も広く、幅広い友好関係が築ける。いろんな世代の人と話したり客を楽しませるといふ一つの目標に向かつて大勢で練習するなど、部活のような感じでも楽しい。

そんな練習の成果を発揮するどんたく本番でこの祭りの本当の楽しさを実感できたのは、中学生になったばかりの時だ。小学生だったころの祭りの楽しみといえば、お菓子、お兄さんお姉さんが遊んでくれる、そんな子供のよくなる楽しみだった。でも中学生の時、それは変わった。初日のステージの上から見るお客さんの顔、拍手、一人も暗い顔をしている人はおらず、拍手は待ってましたと言っているような気がした。今まで、お客さんの顔をまじまじと見ていた覚えがない、だからお客さんの生き生きとした顔に新鮮さを感じた。演奏が始まると、練習のかいあつたのかすごいと驚いている顔が見える、

笑顔で手拍子をしている人がたくさんいる、真剣に演奏を聞こうとしている人もいる、そんな人達の顔、表情をみると、自分の中で楽しいをこえた嬉しさがこみあげてきて私は笑っていた。その時初めて私はこの祭りの本当の楽しさを味わった気がした。

祭りを見にくる人、そして祭りに出る人も楽しい幸せに元気にしてくれるどんたく、この祭りは、私を楽しませる事以外にも多くのことを私に教えてくれる。前にあるように、いろんな年代の人に対する接し方、社会生活に必要なこと、学校では学べないことも教えてくれた。私は、そんな祭りが、自分の住んでいる町にあること、そして、今所属しているどんたく隊にいること、そこでたくさんの仲間と会えたこと、この小さな奇跡にとっても感動している。

一年で一番好きな行事は？
「どんたく」
そう今なら言える。そしてこれから先もずっと言い続けられると断言できる。

NTTドコモ賞

一番山かさ

●博多小学校2年

シロウス
白水 知

六月のある日、おじんたちと夕ごはんを食ると、

「とものすけ今年のひいを書いてみらんか。だからきねんになるぞと、おじいちゃんが言った。ぼくは、おじいちゃん東流のひょうだいていて、かっこいいよす。だからぼくも書き思いました。でも、いじいちゃんがしているゆうは大へんそうできにできるかな。」と、になりました。でも、つてみようと思いましんぶんしを木のいたぐ細長く切つて、その紙もれんしゅうしましたしよはおじいちゃんに書いてもらつたり、つてもらつたりしました。「千手乃光照丈夫」というかん字を見たことがあったからむずかしか

早く山かさをかついでみた
いす。

夏祭りのうら方さん

●堅粕小学校5年

ショトウ
ダイチ
首藤 大知

八月二十二日の夜、町内の夏祭りがありました。開始時間の七時に会場の三角公園に行くと沢山の人が集まってきました。ヨーヨーつりやぼんおどり・花火・ビンゴゲームなどの内容でたいへん楽しくおもしろく予定時間の二時間は、あつという間にすぎてしまいました。

このような楽しいお祭りが出きたのは、沢山の人が力を合わせて準備してきたおかげということを知った後、母から聞きました。

朝六時に集まって準備をして、仕事に行き、仕事から帰った後にまた集まって準備をする日が何日か続いたそうです。

会場にはテントや万国旗やちようちんが会場いっぱいにかざられ、ビンゴゲームの賞品が山のようにつまれていて、ふんいきがもりあがっていました。

そういえば、司会の年配のおじさんは、声をからして、汗だくで一生けん命がんばっ

ていました。ヨーヨーの担当の人は、一人で百個のヨーヨーをふくらませたそうです。ビンゴゲームのカードがみんなにもれなくいきわたるよう

に、何回もまわってきても配っていません。花火のときは、そばに近づきすぎないように、危険防止に注意をはらっていました。ビンゴゲームの賞品を渡すときは、いっぺんに集中したので、最初こんざつしていましたが、他の人が応援にかけつけて、こんざつがおさまりました。

このように、準備だけでなく、祭りの最中でも力をあわせて、スムーズに行くように走りまわっていたようすが思い出されました。

夏祭りに参加した人達に楽しんでもらうためには、大変な準備が必要だということや、そのために力を合わせる多くの人の協力が必要だということ、また祭りの最中も安全に楽しくもり上げるために、多くの人達の力が必要だということがよくわかりました。

このことを祖父に話したら、「よく気がついたね。このよ

うな働きをする人達をうら方さんと言って、とても重要な役割なんだよ。」と話してくれました。

僕は、これから小学生でも出来ることがあれば、すすんで協力しようと思っています。

香椎宮奉納獅子楽を 通して学んだ事

●香椎第三中学校1年

ホンゴウ
タクミ
本郷 匠

「もうすぐ奉納だ。」

毎年2月、4月、9月、11月は香椎宮の奉納行事である獅子楽がとり行われる。1792年江戸中期から行われていたという子孫繁栄と五穀豊穡を願う踊りで、県指定の無形民俗文化財に属している。

香椎宮の氏子で構成する獅子楽は、獅子楽経験者中心の保存会と現役中心の獅子楽社で成り立っている。獅子の顔の作り物を使い、赤色の雄、緑色の雌が舞を繰り広げ、笛や大太鼓、小太鼓、銅拍子の囃しから成り立っている。

僕は獅子楽の氏子として練習を始めたのは三年生の時だった。毎年四回、その祭りの一週間前から連夜集会所での練習が行われた。集まっている方々は近所のおじさん達であったため顔見知りで、和気藹々と練習が始まるのだった。本番が近づくにつれ、太鼓の音は大きくなり、バチを握る力も強くなり、大人たちの獅子舞と笛、はやしの音が重なって、小さい僕でもその達成感が感じられる程だった。近所のおじさんの優しい笑顔と僕を頑張らせるための掛け

声がとても気持ちよかったのを覚えている。本番を終え、獅子楽の衣装を脱ぎ、みんなが食事をとった後、ごほうびをもらって祭りへと繰り出した。僕はよく兄とくじを引いたり、友達と屋台を見てまわった。

あたりまえの様に過ごしていた時間だったが、僕もまだ幼かったの時には練習に参加したくない日があったり、獅子楽を守り受け継ぐ意味など考える事もなかった。僕の参加を待っていたおじさんは家に迎えにきてくれた事もあった。僕はそれのおじさんの気持ちを今も申し訳なく思ってから後悔しているのだ。

香椎宮奉納獅子楽は香椎宮に納める重要な行事の一つである。それと共に地域の人々の絆を結び、助け合い、受け継ぐという大切な責任を担っている。その受け継ぎの中で小さな力として参加していた僕。もう少しその意味が分かっていたのならあの時よりも立派な氏子の役割を果たせていたのと思う。

中学に入り、僕はまた新たな人と出会いがあった。これからは家族の他に友達、先生、先輩など、色々な人が僕と関わり、支えてくれる事があるだろう。このことを、「あたりまえ」だと思ってしまう様に、

人との関わりを大切にしてい、自分を大切にして中学校生活を乗り切りたいと思っている。

全ては、ここから始まった

●博多中学校2年

イリエ
ナコ
入江 菜子

「菜子ちゃんも一緒に踊りに行くよ！」

「ええー！ちよつと！」

全ては、この会話から始まりました。この会話は私がまだ六歳の時の「博多どんたく港まつり」で、いとこが参加していた「ちびっ子どんたく隊」が近くに来ており、私はただ見に来ただけなのに突然近所の方から声をかけられて、無理に「ちびっ子どんたく隊」の中に入れさせられ、まったく知らない踊りを踊らされた時の会話です。そのときはとても恥ずかしかったです。

しかし、小学一年生の時に「恥ずかしかったけど、また踊りたい！」と思い、参加してみると友達と一緒に踊ることが、とても楽しく思えてまた次も出たいと思いつつ参加して・・・結局小学三年生まで、「ちびっ子どんたく隊」として参加しました。小学三年生での、どんたくが終わると私に突然ラツキーな知らせが入ってきたのです！

それは・・・東流と西流が二年ごとに交代で行っていて、小学二年生から六年生の男子十六人と、女子四人と大人のおうたいの方が参加し、国の無形民俗文化財に指定されている「稚児舞」の舞姫になるという知らせです！なる

と聞いた時には、どんたくをまた別の形で参加出来るという事や、ましてや国の無形民俗文化財に指定されているものに出られるという事で、とても嬉しかったです。しかし、練習となると、とてもきつくて、時にはもう嫌だと思いう時もありました。ですが、地域の大人の方としゃべったりして

っていくうちに、きつさも少し和らぎ、本番の時も「稚児舞」に参加しておられる地域の方はもちろん、奉納先で知り合った方としゃべったりしていたので、きつさもあまり感じずとても楽しかったです。

そして、ある時私は、小学三年生までは友達と一緒に人前で踊る事が楽しいと思っていました。が「稚児舞」に参加することにより「地域の方との関わり」も私にとつての楽しさという事に気付きました。舞姫の期間が終わった後も久々に「ちびっ子どんたく隊」に参加したり、日舞クラブに入

って日舞を地域の方に披露したりしました。また中学に入学してからも、どんたくに別の形で参加したり、二年生になる

になると今度は弟が「稚児舞」に参加することになったので、本番に付き添ったりして、積極的に地域の人と関わっています。

私にとつての、どんたくの楽しさ「地域の方との関わり」に気付けたのは、六才の時のあの出来事のおかげだと思います。これからも積極的に地域の行事に参加して「地域の方との関わり」を大切にしていきたいと思えます。

ちゃんぼん

●箱崎中学校3年

武石 葉

早くなる足

高鳴る胸

慣れない浴衣が邪魔をする

ぺこぼこ

近くなるおはやしの音

遠くなる車の音
げたから伝わる太鼓の音

ぺこぼこ

飛びはねる金魚

ぶかぶかうかぶ水ふうせん
だんだん赤らむ君の横顔

ぺこぼこ

集まる人々

背のびをしたその時
大きく開く一輪の花

ぺこぼこ

私の手の中で

小さく光るちゃんぼん

夏の夜風は

優しく私を包みこむ

ある夏の遠い日の思い出

日本アイビー

●博多小学校3年

津村 日出夫

ぼくは、東流でお

いう町内の人たちと

に走っています。前

り後ろに行ったり水

たりかからなかった

ろい事をしながら、

走っています。

一週間の間で一番

は、祝儀山です。

といて山の上の

出来ません。だ

とおもいきり水が

で気持ちがいい

に好きなのは、

追い山では、

ります。でも朝、

ですぐ走らなければなら

のでとてもねむいです。

たくさんのきよい水を

もらうからねむいも

ます。追い山は、く

もありです。大人

ないつしようけん

動かします。子

走らないと山に

から、早く走

山は大人も子

ないといけません。

好きなのは

お汐井取り

走ります。と

と中で水を

水を飲んだり

と、

「がんばるぞー」

という気持ち

こざきに着くと

かじがもら

「ズを飲ん

たりすると、

「ぜんぶは

というき合

とうとうぼ

りました。と

はど、さい

帰ってお

持ちが良

参加した

だなって

短くて一

すぐお

でもや

去年の経験から得た事

●博多小学校6年

喜

私は去年、博多祭りで、稚児舞とをしました。

博多どんたくはがメインと思われ、本当のメインは、ねり歩く、松ぼやのです。その中で稚児舞だけは、名ねり歩きではなく露します。

私が稚児舞に出5年生の時でした。年目の時の練習は、ヶ月間あったので3年の3学期のころ私は昔から、人が苦手で、稚児舞に当に私に出来るの心配になっていました。練習の時に、て酸欠になったのです。でも、学校集会や、前夜祭など、いるうちに、全然なくなりました。もう慣れていたので緊張はしませんでした。時は、大変でしたが、今思えば、感じた、今年5月、稚児舞の子たちが来

お父さんに
いた。

「山笠好きやもん。」
と答えた。今は、出ることは
できないけど十年間山笠に出
た私は、山笠があるから夏が
来る。そう思っている。

起きて、着
弟、いと
ひを着てい
中の祭りス
った。
首とともに
そして、
仇いめでた

千代流が
それから数
の前に千代
の後ろにつ
なの汗がと
見た。これ
博多祇園

つて、いく
そろそろ出
女達からも
はずかし

すがに親か
からうこと
たけど友達
には、ムカ
出すのがは
にはなかつ
祭り好きと
た。
たし？」

この質問に、

「山笠好きやもん。」
と答えた。今は、出ることは
できないけど十年間山笠に出
た私は、山笠があるから夏が
来る。そう思っている。

祭りが嫌いな人がいるなら
ば、団地の夏祭りでも楽しみ
を感じてほしい。大きなみん
なの笑い声、喋り声。どの祭
りにも、さまざまな人の声が
ある。おいしい食べ物。花火。
大音量で流れる音楽。そして、
笑顔。いろんな人の支えがあ
り、祭りはできている。この
祭りの楽しみをできるだけ多
くの人に感じてほしい。
そして、また今年も、夏が
始まる。あのかけ声で。

お祭りの謎

●多々良中学校3年

ヤマウチ
山内 カナ
香奈

私はお祭りが好きです。ど
んなに忙しかろうと年に1回
は必ず行きます。そして今年
も花火大会に行きました。そ
の花火大会についてのことな
のですが私は毎年疑問を感じ
ていることがあります。
花火大会に行く人は多く、
電車も道も人であふれかえっ
ています。毎年、警察の方は
大変だと思ひ横断歩道をわ
たっていました。そしてそん

NPO 博多の風賞

博多のこりよんさん

●博多小学校3年

な人の道の中を歩いて、
ですから自分も大変で、
心の花火だって木や障
人によってきれいな日
いことだつてあるのよ
の大変さは帰り道も続
やつの思いで家に帰
た時は

「もう来年はいかない。
年言っています。なの
来年になったら去年の
を知っているにもかか
行ってしまうのです。
私の疑問です。

どうしてきつい思い
のにまた行こうと思
ようか。それには色
があると思います。花
しなかった、友達と行
かった、自分は何にあ
るだろうと思いま
はきつと花火の美しさ
やなく場所にたどりつ
の苦しさも苦しんで
なんとか花火を見よう
見た花火はとても印象
からだと思います。家
た直後はくたくたにつ
るのもう来年は行か
思うけど時がたてば記
い出にはその時見た花
しさをもう一度見たい
ので行くのがきついと
ていても行ってしまう
なしでしょうか。私は
の時期にある祭りが一
です。

●周船寺小学校5年

●博多小学校6年

肝の、その、毎、さ、が、した、由、美、し、ま、れ、じ、で、て、て、つ、と、思、美、う、夏、き

わたしは、山
いをしてい
すごいと思
わけは、朝
山かさに
めに、ご
せんたく
それに、
んのお仕
です。
わたしのお
んさんをして
のお母さん
んの方が
しています
ちゃんも昔
たそうです
わたしはお
かい時のお
写真を見
それは、お
きなお皿
にぎりが入
持って行く
わたしはそ
「今のこり
同じだ」

	10月	第1回 博多の風フォーラム 開催 講師:松本龍氏(衆議院議員)
平成11年	4月	第2回 博多の風フォーラム 開催 講師:倉田 眞氏(毎日新聞編集局長)
	10月	第3回 博多の風フォーラム 開催 講師:沢田幸二氏(九州朝日放送アナウンサー)
平成12年	4月	第4回 博多の風フォーラム 開催 講師:坂口卓司氏(RKB毎日放送アナウンサー)
	5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 『山笠の風』出版 同出版記念パーティ 開催
	6月	NPO(特定非営利活動法人)認証取得 理事長:大庭宗一 NPO博多の風として登記
	10月	第5回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:緒方邦博氏(プランニング秀巧社社長)
	11月	山笠交流会館建設提言書 福岡市長へ提出
平成13年	4月	第6回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:後藤豊彦氏(福岡銀行相談役)
	5月	第1回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	7月	『NPO博多の風フォーラム』 福岡県21世紀記念事業認証取得
	10月	福岡県21世紀記念事業 第7回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:後藤久義氏(博多祇園山笠振興会会長) 永吉和幸氏(毎日新聞社福岡総局長) 緒方邦博氏(プランニング秀巧社社長)
平成14年	4月	第8回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:安達一成氏(毎日新聞社記者) 『NPO博多の風ホームページ』開設
	5月	第1回 クリーン作戦 実施
	6月	第1回 追い山笠コース探訪 開催 第2回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	「NPO博多の風広報誌:風人」発行
	11月	第9回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:高橋慶彦氏(元プロ野球広島東洋カープ)
	12月	第2回 クリーン作戦 実施
平成15年	4月	第10回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:永守良孝氏(RKB毎日放送株式会社 取締役)
	5月	第3回 クリーン作戦 実施
	6月	第2回 追い山笠コース探訪 開催 第3回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	11月	第11回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:奥田智子氏(九州朝日放送アナウンサー)
	11月	第4回 クリーン作戦 実施
平成16年	4月	第12回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:ウー C.リー氏(在福アメリカ領事館首席領事)
	5月	第5回 はかたの町クリーン作戦(雨天中止)
	6月	第3回 追い山笠コース探訪 開催 第4回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	第13回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:富永倫子(RKB毎日放送アナウンサー)
	11月	第6回 はかたの町クリーン作戦 実施
平成17年	4月	第14回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:松田浩氏(アビスパ福岡監督)
	5月	第7回 はかたの町クリーン作戦 実施
	6月	第4回 追い山笠コース探訪 開催 第5回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	第15回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:大庭宗一(NPO博多の風理事長)
	11月	第8回 はかたの町クリーン作戦 実施
平成18年	4月	第16回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:平田大(南島詩人)
	5月	第9回 はかたの町クリーン作戦 実施
	6月	第5回 追い山笠コース探訪 開催 第6回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	第17回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:逸見明正氏(九州朝日放送アナウンサー)
	11月	第10回 はかたの町クリーン作戦(雨天中止)
平成19年	4月	第18回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:中村信喬氏(人形師)
	5月	第11回はかたの町クリーン作戦 実施
	6月	第6回 追い山笠コース探訪 開催 第7回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	第19回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:戸谷弘一氏(福岡県警察本部 警務部警務課管理官)
	11月	第12回 はかたの町クリーン作戦 実施
平成20年	4月	第20回 NPO博多の風フォーラム 開催 講師:石原進氏(JR九州 代表取締役社長)
	5月	第13回はかたの町クリーン作戦 実施
	6月	第7回 追い山笠コース探訪 開催 第8回 祭童子あつまれ楽文コンテスト 実施
	10月	第14回 はかたの町クリーン作戦 実施
	11月	第21回 NPO博多の風フォーラム 開催

NPO特定非営利活動法人

博多の風

〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16 -302

FAX 092-263-7188

E-Mail info@hakatanokaze.jp

URL http://hakatanokaze.jp

NPO博多の風事業概要

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動
博多のおいしゃんと歩こう「追い山笠コース探訪」事業
- 博多の町の地域清掃活動「はかたの町クリーン作戦」事業
- 祭童子あつまれ「楽文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年のボランティア活動の推進